空室情報

※ お問い合わせは、03-5906-5340 または、info@chc.or.jp まで

コレクティブハウス 聖蹟

1R 25㎡ 83,000 円
即入居可

2K 40㎡ 121,000 円
即入居可
シェアも可能

コレクティブハウス 大泉学園

シェア住戸 13㎡ 49,000 円
即入居可

1R 18㎡ 55,000 円
即入居可

1DK 30.4㎡ 74,500 円
即入居可
ご夫婦、シングルペアレントの方もどうぞ。

いつでも広々
24 時間風呂あります
コレクティブハウス大泉学園

コレクティブハウス 元総社コモンズ

1R 24.42㎡ ～
45,000 円～
即入居可

1DK 37.07㎡～
65,000 円～
即入居可

コレクティブハウスとは？

NPO コレクティブハウジング社(CHC)が、企画・推進する「多世代でつながる・地域とつながる」
新しい仕組みの賃貸住宅です。

各ハウス 居住者のブログ

実際の暮らしの様子は、コチラ

スガモフラット
http://sugamons.no-blog.jp/
コレクティブハウス聖蹟
http://chcseiseki.blog60.fc2.com/
コレクティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/

事業主募集中！

※ お問い合わせは、03-5906-5340 または、info@chc.or.jp まで

NPO コレクティブハウジング社では、事業主を募集しています。
コレクティブハウスの賃貸事業に興味ある事業主さん、ご連絡お待ちしております！
たくさんの居住希望者が、住みたいまちのエリアを中心に、事業主さん探しの活動を続けています。

居住希望者の活動の様子

http://common-meal.blogspot.jp/

スケジュール

※ お問い合わせは、03-5906-5340 または、info@chc.or.jp まで

● 住みたい方 オリエンテーション

コレクティブハウスに住みたい暮らしづくりに興味のある方

7 月 10 日(木) 19:00～21:00
7 月 20 日(日) 14:00～16:00
7 月 31 日(木) 19:00～21:00

参加費： 2,000 円
会場： 目白 CHC オフィス

● コレクティブハウジング 入門

コレクティブハウジングのことをお知りになりたい方

7 月 14 日(月) 13:30～15:00
7 月 24 日(木) 19:00～20:30

参加費： 3,000 円
会場： 目白 CHC オフィス

● コレクティブハウジング 講座

コレクティブハウジングの仕組みを体験したい方

7 月 14 日(月) 19:00～21:00
7 月 28 日(月) 19:00～21:00

参加費： 3,000 円
会場： 目白 CHC オフィス

●コレクティブハウス 見学会

実際のハウスを見てみたい方

スガモフラット
6 月 21 日(土) 13:00～15:00
コレクティブハウス聖蹟
7 月 26 日(土) 13:00～15:00
コレクティブハウス大泉学園
7 月 27 日(日) 13:00～15:00

参加費： 2,000 円
会場： 各ハウス

お知らせ

● Facebook
CHC の facebook ページ「コレクティブハウジングで行こう！」を
ホームページのトップページからご覧頂けるようになりました。
ぜひ「いいね！」ボタンへのクリックをお願い致します。
http://www.chc.or.jp/

● 目白オフィス　オープンデイ
目白オフィス、会員の皆さまにお気軽にお越し頂けるよう、
毎週木曜日午後をオフィス オープンデイとしています。
事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。
お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。
※　都合によりメンバーが不在の場合もありますので、お越しの際には、事前に事務局までご一報ください。
TEL: 03-5906-5340 / MAIL: info@chc.or.jp

目白 CHC オフィスへのアクセス

〒171-0031
東京都豊島区目白 3-4-5 アビタメジロ 302
03-5906-5340

人材募集！　あなたのやる気、専門知識を活かしませんか？
NPO コレクティブハウジング社では、活動に協力してくれる人材を募集しています。info@chc.or.jp まで

コレクティブなつながりを創造する　　2014 年7月10日 創刊号

ほぼ月刊 CHC

これこれ新聞

NPO コレクティブハウジング社（CHC）オンライン
http://www.chc.or.jp/
お問い合わせは、03 – 5906 – 5340 または、info@chc.or.jp まで

月刊これこれ新聞
定価 200 円（税込）
定期購読 1,980 円（年間/送料別）

CHC 最新活動ニュース　　*コレクティブハウス発祥の地スウェーデンから*

暮らしづくりの先輩 スウェーデンより来日

今月のトピック

インゲラさん来日
本場スウェーデンからのお客様。コレクティブハウスと CHC を訪ねてくれました。

豊島区タウンコレクティブ コモンハウス探し
コモンハウスとして活用できる物件を探しています！
物件の条件とは？

元総社コモンズが、NHK 総合テレビで紹介されました
平成四半世紀第 2 シリーズ「家族」の特集の中で、元総社コモンズが紹介されました

CHC 総会のお知らせ
2014 年 6 月 22 日(日)
14 時から、豊島区目白第二区民集会室にて、CHC 総会が開催されます。

連載コラム
コレクティブハウス居住者が綴る、育児日誌 in コレクティブハウス 第 1 回 前半編

お知らせ
近日開催の各講座、オリエンテーションのスケジュール、コレクティブハウスの空き住戸、情報満載！

今年３月にスウェーデンからコレクティブハウスの先輩がお越しになり、大泉や聖蹟のハウスを訪問されました。
３月１８日はいい天気の朝９時半から１日がかりで二つのハウスと大泉の「つくりっこの家」を巡り、最後は CHC の理事会にも参加というハードスケジュールでコレクティブ三昧の１日を過ごしていただきました。

インゲラ・ブロンバーグさんはスウェーデンでのコレクティブハウスの普及や啓発活動の中心的グループのメンバーでもあり、建築家で大学の先生でもあります。CHC にとって、心強い理解者で支援者で、先生でもあるというような方です。飾らず、人の話を注意深く聴いてくださる、私達にとっては国を越えて同志と思えるような頼もしい方です。

これまでも数回来日されコレクティブハウスの講演や、かんかん森やスガモフラットの訪問もされ、住まい手とも楽しく懇談しミールにも参加されています。日本でのコレクティブハウスの普及に興味をもち、ハウスが出来ることを期待してくださっています。今回は３年ぶりの訪日で、今まで見ていないハウスを是非訪問したい、また CHC の理事とも情報交換したいということで、事務所にもお寄りいただくことになりました。

（4 面へつづく）

発行　NPO コレクティブハウジング社（CHC）　〒171-0031 東京都豊島区目白 3-4-5 アビタメジロ 302
TEL: 03-5906-5340 / FAX: 03-5906-5341
E-mail: info@chc.or.jp

豊島区タウンコレクティブ - コモンハウス探し -

豊島区では、2012 年７月に居住支援協議会が設立され、９月に「豊島区居住支援モデル事業」として、住宅をなかなか借りられない方に、NPO などの支援によって地域に馴染む形で区内の空き家に入居していただき、地域の活性化にも役立つべく、CHC のタウンコレクティブ事業がそのモデル事業の一つとして採択されました。しかし、協議会もモデル事業も試行錯誤の段階で、昨年度までは思うような成果が出せずにいました。

今年度は、助成事業としても仕切り直しがあり枠組みが緩やかになったため、CHC としても活動しやすくなりました。ぜひ、今年こそ実現したいと思います。

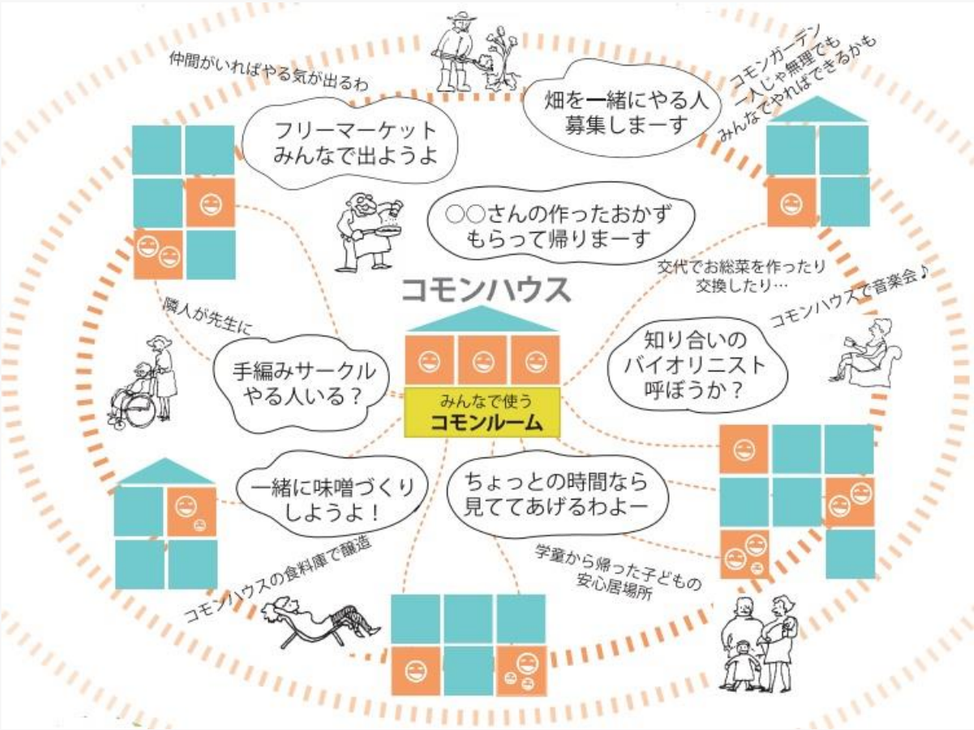
タウンコレクティブ新江古田のコモンハウス
ecoda house （エコダハウス）
このハウスは、ぎりぎり練馬区にあります。

TOWN COLLECTIVE ― タウンコレクティブ事業とは？

「地域とのつながりをもちながら暮らす」ことをテーマとしたコレクティブハウジングをまちなかの空き家を使って展開します。

居住者は多世代の方々を想定しており、このような暮らしをしたい方を募り、多様な方々のコミュニティづくりの支援を CHC が行います。

住まいの形式として、共用スペースとなるコモンハウス用の住宅（ここにも 3～4 名居住）と、その周辺に住む人たちの住宅という構成を想定しており、コモンハウスは CHC が借り上げて居住者と共に運営をします。



NPO コレクティブハウジング社 総会のお知らせ

４月末をもって、CHC の 2013 年度が終了いたしました。
理事メンバーは現在、６月の総会に向けてミーティングを重ね、準備を進めています。

総会では、議決権は正会員のみですが、他の会員のみなさんも傍聴していただけます。
CHC の今を知っていただく良い機会になると思いますので、ぜひお越しください。

■ **日 時**： 2014 年６月 22 日（日） 14 時～17 時半（予定）
■ **会 場**： 豊島区目白第二区民集会室
http://www.city.toshima.lg.jp/shisetsu/shisetsu_community/005173.html

（※資料の準備や会場内の配置の関係がありますので、事前に事務局まで傍聴のお申込みをお願いします。）

コーディネーター養成講座 第２期７月より始まります

第１期に受講された方の声を紹介します

第１回
都市計画とかは自分には遠い物だと思っていましたが、お話の通り地域の事は地域の住民が一番詳しく、専門家だけでは住み良い『まち』は、つくれないのかも知れない。自分も参加する事で学びたい。
（60 代 男性）

第２回
ワークショップの内容をいろいろな視点から学べました。多様なルーツ（コミュニティ体験）をもつ人達がそれを抱えながら、これからどんなコミュニティをつくっていけるのかに関心があります。
（50 代 男性）

第４回
いよいよ具体的なコーディネーターとしての役割についての講義、大変役に立ちました。私が取り組むべき「コレクティブハウス」事業のテーマをどう表現しようか。
（40 代 女性）

第５回
『主体性は多様性の中にこそ存在する』というお話、自分の中でストンと落ちました。
（40 代 女性）

第７回
これだけ、少人数のなかでも、様々な目線と立場で課題を持っているのが、とても面白かったです。（多様ですね。）
（30 代 女性）

連載コラム ― 育児日誌 in コレクティブハウス ― その１ 前半

コレクティブハウス居住者、O 橋さん（40 代男性）のコレクティブハウスでの子育てと暮らしの様子をお伝えするコラムです。O 橋さんの奮闘する育児の様子を楽しみながら、見守って頂けますと幸いです。

2012 年３月 25 日に娘が生まれ、咲菜（さきな）と名付けました。産休後の半年の育児休暇を経て、妻が仕事に復帰することになり、保育園の申し込みに行くと、多摩市でも待機児童が多く、すぐに保育園に入れないことがわかりました。それなら、ということで、妻と入れ替わりで、12 月半ばより、私が育児休暇を取得することにしました。

「育休に入ったら、子どもとの時間も楽しみだけど、少しはまとまった自分のための時間が持てるかな。」と、期待していたのですが、実際には自分の思った通りの段取りで行動できるわけではなく、子どもの機嫌にも左右されるし、小さいながらに本人の意思もあったりして、一日の多くの時間は、うんＯにまつわる世話か、次のご飯はどうしよう？ということに費やされ、毎日が過ぎていきます。そして、最初のころに辛かったのは、手荒れでした。手の甲がぱっくり裂け、慣れてくるまでは、本当に痛くて泣きそうでした。それでも、ちゃんと決まった時間に、きちんと用意したご飯を食べさせようとか、昼寝の時間を確保しようとか、一日に一回は散歩に出かけようとか、良い親としての振る舞いを追い求めました。するとこんどは、「ちゃんと子どもと向き合って、遊んだりする時間を持っているのだろうか」と、やるべきことに追われてキリキリしていた自分に反省です。

左下、子どもを抱えている O 橋さん

（後半へつづく）

COMMON HOUSE　このような物件を探しています

● コモンハウス用物件

・規　　模：　3～4 つの居住用の個室のある住宅で、リビング、ダイニング、キッチンは人が集まれるように多少広い物件を想定。建物形態としては戸建住宅、共同住宅の 1 階、商店街の空き店舗併用住宅など

・構　　造：　新耐震基準（昭和 56 年、1981 年 6 月以降）で建設された建物、または、耐震補強済みの建物

・借上賃料：　個室の数にもよりますが、3 個室ある物件で 10 万円程度、4 個室で 15 万円まで

・地　　域：　巣鴨、要町、椎名町、雑司ヶ谷、目白周辺などを想定

【コモンハウスがオープンした後は】

・コモンハウスを中心的な共有スペースとして、その周りに暮らす居住者を募ります。
・その方々の住まいは、コモンハウスの近辺で、地元の不動産業者さんに仲介していただくような橋渡しを NPO が行います。

タウンコレクティブは、地域とつながりを持ちたい新規住民が増えることで、
ひいては、高齢化した地域が元気になるきっかけを生み出す可能性を持つ事業だと考えています。
豊島区には、スガモフラットや CHC の事務所もありますので、
地元の NPO や町内会などともネットワークしながら進めていきたいと思います。

ぜひ、まずはコモンハウス探しにご協力下さいますよう、
よろしくお願いいたします。

（担当：狩野、宮本）

（ecoda house のコモンスペース）

コレクティブハウス元総社コモンズが NHK で紹介されました

5 月 13 日、NHK 首都圏ネットワークで、群馬県前橋市の『コレクティブハウス元総社コモンズ』が紹介されました。

『コレクティブハウス元総社コモンズ』は、昨年６月にオープンした群馬県住宅供給公社の多機能賃貸住宅の一部にあるコレクティブハウスで、ＣＨＣがコーディネートを担当しています。

番組では、”平成四半世紀”「家族」という特集の中で取り上げられています。
今なら番組のサイトから動画も見られます。

http://www.nhk.or.jp/shutoken/heisei/

（1 面からのつづき）「インゲラさん来日」

朝、千駄木の旅館にお迎えに行き、まずは大泉学園まで出発。11 時ごろに大泉学園のハウスにつきました。残念ながら、入居者は出払っており、会っていただくことはできませんでしたが、寮の改造によってできたこと、障害のあるひとも共に住んでいることなど、お話ししつつご案内をしました。私と狩野さんの、つたない英語でどこまで伝わったかと思う場面もしばしばありながらも、何はともあれと電子辞書と以心伝心。その後大泉のハウスを共に支援している「つくりっこの家」に伺い、お昼のハヤシライスを皆さんと一緒にいただきました。スウェーデン大好きというメンバーがいて、インゲラさんに話しかけたり、障害のある人と、地域の主婦をメインにした共働メンバーが助け合いつつ、お店をやったり、裂き織をつくったり、クッキーを作ったり、そういう姿を見て、「このような普通の暮らしの中で障害のある人と近所の人がやり取りするようなことはスウェーデンではなく、障害者への対応は専門家の仕事になっておりはっきり分けられている、日本のこういうやり方はイタリアなどと似ている、こういう方がとても自然でいいと思う」と話され、福祉先進国の意外な盲点かもしれないと思いました。多様な人が混ざり合うことの難しさでもあります。

その後、満腹で眠くなりつつ、バスと電車を乗り継ぎ　聖蹟に向かいました。

３時過ぎに、ようやく到着、聖蹟に住む理事二人がいっしょになって、ハウスをご案内し、最年長の住まい手の女性の家を訪ねました。　同じくらいの年齢で、ここでの暮らしや、住宅のしつらえ、趣味など話が弾み、『炬燵にどうぞ』といわれて、躊躇しつつ、インゲラさんも初体験。

床に座るということがあまりないのでしょう、直ぐ出てしまいました。

コモンルームでお茶をいただき、ミールの仕組みなども説明してもらいました。スウェーデンとは違うところが多々あったとおもいますが、熱心に聞いて、質問をし、何度も素晴らしいといってくださいます。オープンハウスしてくださったＳさんと、『お元気で！』と別れを惜しみ、事務所に向かいました。

夕暮れになり、事務所近くで一緒におでんをいただき、事務所を見学に来られました。

感想はとお訊きすると、『訪問したハウスはどこもとても快適で素晴らしかった。特に、聖蹟で住まい手にお会いできたことがとても嬉しかった。彼らがこの暮らしを好きだと感じていることがとてもよく理解できました。あなたたちは、驚くべき何かを創造していると私は思いました。そしてこのような素晴らしい仕事をもっと、もっと、もっと続けて欲しいと思います。』ということでした。私たち理事メンバーには「未来にむけて、コレクティブハウスはどのようになっていくと思うか？　厳しい社会環境の中でこれからどういう活動が展開できるか？」という質問も同時にいただきました。

これからも、コレクティブの暮らしの中での問題や　社会の中でのありかた、考え方について、誰もが尊厳を持って生きられる社会をめざすことなど、出来るかぎり深く話合い、追求していたいと思います。

理事メンバーと懇談し、事務所の写真パネルのまえで、記念撮影をし、長い１日が終わりました。

インゲラさん、お疲れさまでした。たくさん興味や関心を持ち続けてくださり何時も　暖かい励ましをいただき、本当にうれしく思っています。これからもよろしくお願いします。

（文・宮前眞理子）